

# 1 血液事業の現状

本県における血液事業は、昭和39年8月献血推進についての閣議決定以来、国内の医療で使用されるすべての血液製剤を献血によって確保することを目指し、400mL献血の推進と血液製剤の適正使用に力を入れてきたところである。

血液製剤が将来にわたって安定的に供給される体制を維持する必要があることから、関係団体と連携し、献血に対する正しい理解の促進や、若年層献血者及び複数回献血者の確保等の献血運動を推進するとともに、医療機関における一層の血液製剤の適正使用の促進に努めている。

【表1 年度別献血者数】 下段（ ）内は計画目標数（16年度から策定）（単位：人）

年度	200mL 献血	400mL 献血	成分献血	合計
R2	65 (0)	148,546 (145,562)	64,262 (68,325)	212,873 (213,887)
R3	231 (0)	148,329 (146,061)	65,621 (67,974)	214,181 (214,035)
R4	568 (0)	152,530 (146,949)	64,395 (68,559)	217,493 (215,508)
R5	396 (555)	153,267 (148,740)	65,275 (59,043)	218,938 (208,338)
R6	471 (525)	155,403 (150,520)	64,767 (61,013)	220,641 (212,058)
R7	644 (528)	152,893 (153,250)	64,354 (61,431)	217,891 (215,209)

※R7年度は見込み

【表2 令和6年度年齢別・性別献血者数】（単位：人・%）

年齢	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	計
男性	7,556	18,693	22,205	35,832	47,978	24,212	156,476
女性	2,809	10,694	9,348	13,412	19,354	8,548	64,165
計	10,365	29,387	31,553	49,244	67,332	32,760	220,641
構成比 (R5年度)	4.7 (4.7)	13.3 (13.4)	14.3 (14.8)	22.3 (23.5)	30.5 (29.8)	14.8 (13.9)	100.0 (100.0)

構成比は四捨五入により合計が100にならない場合がある

【表3 令和6年度献血による採血量】（単位：L）

区分	目標	実績
全血献血	60,313	62,255
小計	60,313	62,255
血漿成分献血	22,957	24,359
血小板成分献血	11,818	13,334
小計	34,775	37,693
合計	95,088	99,948

※小数点以下の端数処理により、合計が一致しない場合がある